

第9次下川町行政改革大綱策定に伴うパブリックコメントへの回答について

番号	ご意見の内容	回答(町の考え方)
1	<p>行政改革の最重要目標は、「住民全員が幸せを感じることでできるまちづくり」となるかと思いますが、今回の内容では、効率、削減、廃止、縮小など、財政体制の立て直しが中心となっている閉塞的な計画と受け止めました。どちらかという「町民全体が我慢をする時間」でしょうか。これを拝見した町民、移住検討者は、下川町にとどまりたいとおもうでしょうか？</p> <p>このような内容には、必ず、明るい材料 例)「音楽とスポーツの町」として魅力あるまちづくりに踏切り、町外より年間〇〇世帯の移住者を呼び込む 例)芸術専門学校を作り、個人事業としてのアーティストを育成する などの、具体的なプラス事項を入れないと、読み手にとっては、単に暗い気持ちにさせられるだけです。</p> <p>そこで提案です。この内容はかえられないの でしょうから、同時に実施して欲しい事があります。 それは、恒常的に全ての町民アイデア、苦情、感謝を伝える窓口と、その内容を吟味し、各機能に振り分けたり、今後の町政計画に盛り込む担当者(今ではAIでもできるでしょう)が必要と思われます。</p> <p>よって、下川町のHPIに相談窓口を開設して 頂きたい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>まず、行政改革大綱につきましては、町の最上位計画である「下川町総合計画」を着実に推進するため、行財政運営の観点から下支える下位計画となります。</p> <p>第6期下川町総合計画では、「誰ひとり取り残されず、しなやかに強く、幸せに暮らせる持続可能なまち(2030年における下川町のありたい姿)」を将来像として位置付け、ありたい姿の実現に向けて、各種施策を推進しているところであります。</p> <p>ご意見の「明るい材料・まちづくりに関する事項」については、総合計画に搭載していくものであり、総合計画で掲げる施策を実現できるよう、行政改革大綱では、組織面や財政面で改革を進めていく内容となりますので、ご理解いただければと思います。</p> <p>また、ご意見の「相談窓口の開設」については、町民の皆さんのご意見をまちづくりに活かす広聴広報活動として、「知恵の輪」を実施しており、日頃から抱えている身近な疑問や課題、ご意見やご提案を随時、町のホームページなどで受け付けていますので、ご理解願います。</p> <p>※ご意見のうち、個人が特定できる記載については、掲載を省略しています。ご意見として承ります。</p>